

やさしさ

各地で災害復興

ふれあい喫茶開催

8月の災害で被害が大きかった木ノ谷、杉ヶ瀬、田井の各自治会で地域の助け合いの大切さをあらためて認識しようと災害復興支援ふれあい喫茶が開催されました。

これは、復興支援ボランティアセンターを運営する社協の呼びかけに応えたもので各自治会それぞれ盛大に行われました。

これから災害復興にむけた取り組みが今後の地域の助け合いなどの活動の活性化につながることを期待されます。

(山崎支部 阿曾秀樹)



盛り上がったカラオケ大会 田井



台風9号災害写真展
10月25日 田井ふれあい喫茶



大正琴クラブ山崎華音会のみなさんによる演奏
10月25日 杉ヶ瀬ふれあい喫茶



社協職員と地元福祉委員による着ぐるみ漫才
木ノ谷ふれあい喫茶



民生委員のみなさんのハーモニカ演奏
10月3日 木ノ谷ふれあい喫茶

いちのみや

受け継がれた50年の絆

海と山の交歓会

町名が同じ「一宮町」が縁で交流を続けてきた、宍粟市立下三方小学校と淡路市立郡家小学校による「海と山の交歓会」が、10月18(日)、19(月)の2日間、三方小学校で行われました。

両校が姉妹校として交流をはじめたのは1960年から。毎年、5年生が夏に下三方小から淡路へ。秋には郡家小から宍粟を訪ね、今回で50回目の交歓会となります。

1日目は、郡家小の22人と下三方小全校児童との対面式を



50年の間に祖父母から孫まで三代が交歓会に参加している家族も。7月には5年生18人が淡路を訪問

行い、校庭では50周年を記念して、「絆」と書かれた石碑を除幕しました。

また、波賀町原で滝の見学やりんご狩りを体験し、夜にはそれぞれの交歓相手の家庭にホームステイしお互いの親交を深めました。

2日目には、台風9号の豪雨で被災地となった一宮町福知で、災害の体験や学んだことを発表し、災害への認識を深めました。

今回の交歓会でより一層強い絆で結ばれた下三方小と郡家小。今後も交流が続くことを願います。(本部・一宮支部 波多野好則)

災害についての学習



「水は大切だと思った。」「ボランティアで恩返ししたい。」「災害は二度と起こってほしくない。」



「絆」と書かれた石碑

読者の感想より

毎週、各ふれあい喫茶の様子等の写真をみるのがすごく楽しみです。地域の生活の様景色等さまざまな記事等手に取るように拝読しています。特にひ孫といっしょシリーズなど!(一宮町 女性)

こんにちは!
社協です!!